

日野市教育委員会 殿

学 校 名 日野市立日野第一小学校
校長氏名 小 川 真 由 美
(公印省略)

令和 8 年度教育課程について (届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級 (知的障害) の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基底として、自律的・協同的に行動し、未来をひらき持続可能な社会の担い手となる自覚と資質・能力を備えた心身ともに健康な人間の育成を目指すために次の目標を設定する。

- ◎かしこい子 (すすんで学び考え、あきらめずに問題に取り組む子供)
- やさしい子 (自他の命を大切にし、よりよく生きようとする子供)
- 元気な子 (心も体も健康で、粘り強く行動する子供)

(2) 特別支援学級の教育目標

将来の社会参加に備え、心身の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図る。

- ・自立に向けて必要な知識、技能、態度、及び基本的生活習慣を養う。
- ・人との関わり合いを深め、集団の中で楽しく協力して生活できる力を養う。
- ・健康な心身の発達や、体力の増進を図る。

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- ①児童の学習・生活・自立活動等についての実態を的確に把握し、障害特性や個に応じた目標を設定し、個別指導計画を作成して有効で適切な指導を行う。また、かしのきシートを作成し、長期にわたった支援を行うことができるようにする。
- ②キャリア教育の視点から、校外学習や生活単元学習、総合的な学習の時間に体験的な学習や社会性を伸ばさせる学習を重視し、自ら学び、考える力を育む。
- ③一律一斉だけではなく、個別学習や小集団学習を組み合わせるなど指導内容や指導法の工夫改善を図り、一人一人に基礎・基本を定着させる。
- ④いじめを許さず、助け合う態度を育て、児童一人一人が自己肯定感をもてる教育活動を実践し、相手の気持ちを思いやることのできる人権教育を推進する。
- ⑤学校行事、学級行事、児童会活動、教科、給食及び日常の様々な場面での通常の学級や中学校との交流及び共同学習を通して、集団への積極的な参加を図り、経験や視野を広げ、人と関わる力の育成に努める。
- ⑥栄養士と連携し、食に関する指導や栄養指導を行うとともに、地域の農家の方々の協力を得ての東光寺大根の収穫、調理、加工、販売など一連の体験や学級園での栽培体験や調理実習などの体験学習を積極的に取り入れ、食への関心や食への感謝の念の育成に努める。
- ⑦「体づくり運動」やパラスポーツを取り入れながら児童の運動への意欲を高め、児童の運動能力を的確に把握し、発達段階や個に応じた目標と運動内容を設定して体力の向上を図る。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の重点

ア 各教科

- ・個別指導計画に基づいた個別指導と小集団指導を行う中で各教科の基礎的、基本的な学習内容の定着を図る。個別最適な学習を行うため、一人1台の端末や ICT 機器を活用する。
- ・生活に結びついた効果的な指導を行うため生活単元学習の時間を設定し合科的・関連的な指導を進める。

イ 特別の教科 道徳

- ・「生命の尊重」「親切・思いやり」「希望と勇気、努力と強い意志」を重点項目とし、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。
- ・ロールプレイ等を取り入れ、善悪の判断や規則の尊重について体験的に考えを深めさせる。

ウ 外国語活動

- ・発達段階を考慮しながら、ゲームなどを通して、英語によるコミュニケーション能力の素地を養う。

エ 総合的な学習の時間

- ・国際理解・ICT活用・環境・福祉・健康などの横断的・総合的な課題、及び、児童の興味・関心に基づく課題、日野の歴史・文化や自然など地域や学校の特色に応じた課題などを児童の実態に応じて学習活動を進め、生きる力を育てる。
- ・自然体験や社会体験、ものづくりや生産活動、環境学習に基づいたエコアクション、地域の方々と中学校との交流及び共同学習など体験的学習を積極的に取り入れる。

オ 特別活動

- ・学校行事、学級活動、クラブ活動、委員会活動等の活動を通し、集団の中での行動の仕方や人との関わりの楽しさを体得させ、周囲と協力する態度を育てる。
- ・児童が自ら学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして自己評価を行うキャリアパスポートを活用し、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげる。

カ 自立活動

- ・個々の実態の把握、指導すべき課題の整理、6区分27項目の指導内容をふまえた指導目標の設定、効果的な指導方法の工夫を通して学习上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する力を養うために教育活動全体を通して行う。

(2) 生活指導の重点

- ・基本的な生活習慣や挨拶・礼儀等の育成を図り、家庭と連携を深めながら自立を進める。
- ・日常生活場面や避難訓練、生命(いのち)の安全教育、情報モラル教育などを通して、健康、命の大切さ、自他を尊重する気持ち、いじめを絶対しない・許さない姿勢などを育てる。

(3) 進路指導の重点

- ・社会の一員として自立できるよう、必要な生活能力や社会性を育てるとともに、宿泊学習での職業体験を生かして学級でお店開きをするなど、将来に結び付く活動を取り入れる。
- ・社会科見学や農業体験を通して、望ましい職業観や勤労観及び職業に関する知識等を育てるためのキャリア教育を行いつつ、保護者との共通理解を深め、将来について考えさせる。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動・その他の配慮事項等

- ・障害の重複化・多様化については児童の障害特性や実態を的確に把握し、適切な支援ができるよう、グループ編制や環境設定に留意するとともに、教師間で児童の課題や心理的な状況及び指導の手だてを共通理解し、効果的な指導を行う。
- ・学習中に必ず評価場面を取り入れ、教員からの評価だけでなく、自己評価や相互評価などの工夫をし、児童の学習意欲を高める。
- ・児童の興味のある遊びや、スポーツ、持久走、登山、ボッチャ等のパラスポーツを取り入れたり、公共図書館の使い方や電子書籍の借り方などの指導を含め、読書の楽しさに触れさせたりする中で、自発的な活動を高めながら将来の余暇活動に備える。
- ・校内に「交流及び共同学習委員会」を組織し、交流及び共同学習の計画・実施、支援体制作りなどを推進する。

4 授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1		16	18	22	13	0	19	21	19	19	15	19	17	198
2		18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	19	17	200
3		18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	19	17	200
4		18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	19	17	200
5		18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	19	18	201
6		18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	19	17	200
備考		① 第5学年は卒業式に出席するため、第1～4学年・第6学年より1日増。 ② 振替休業日のない土曜日授業の日数は1日。 ③ 第1学年は入学式が2日遅いため、第2～4学年・第6学年より2日減。												

(2) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の年間授業時数配当表

① 各教科

教科名		学 年	1	2	3	4	5	6
各教科	国 語							
	社 会							
	算 数							
	理 科							
	生 活							
	音 楽							
	図 画 工 作							
	家 庭							
	体 育							
外 国 語								
知的障害者 を行う特別 支援学校の 児童に対する 各教科	内 容							
	生活	身近生活の処理、手伝いや仕事等 (各教科等を合わせた指導で行う。)						
	国語	文字の読み書き、漢字、文章表現力の 向上、言葉のきまり、物語の理解等	170	175	175	175	175	175
	算数	数の計算、重さ・長さ・かさ・広さの 理解と比較、図形、時計の読み等	170	175	175	175	175	175
	音楽	歌や楽器での表現、身体表現、リズム	68	70	70	70	70	70
	図画工作	絵と工作、造形遊び、道具の扱い、鑑 賞等	68	70	70	70	70	70
体育	基本的な運動、道具を使った運動、水 の中での運動等	136	140	140	140	140	140	
小 計		612	630	630	630	630	630	

② 道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

内容・学年	内 容	1	2	3	4	5	6
道徳科	きまりを守ること、思いやりなど、身近な題材から道徳的心情、実践力を養う。	34	35	35	35	35	35
外国語活動	英語による挨拶や簡単な会話を取りあげ、積極的にコミュニケーションしようとする態度や意欲を育てる。			15	15	15	15
総合的な学習の時間	国際理解、地域学習、伝統文化、環境、福祉、交流及び共同学習等			70	70	70	70
特別活動	係活動、学級会等	34	35	35	35	35	35
自立活動	コミュニケーション能力の育成、ソーシャルスキルの育成、全身や四肢の運動等						
小 計		68	70	155	155	155	155

③ 各教科等を合わせた指導

内容・学年	内 容	1	2	3	4	5	6
指導の形態							
日常生活の指導	健康観察、清潔、挨拶、日課に沿った行動、礼儀作法等						
遊びの指導	道具や自然の素材を使った課題遊び						
生活単元学習	手芸、調理、東光寺大根栽培・加工、校外学習	170	210	195	230	230	230
小 計		170	210	195	230	230	230

(3) 年間総授業時数

年間総授業時数 (①+②+③)	1	2	3	4	5	6
	850	910	980	1015	1015	1015
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時数の1単位時間は45分とする。 ・「日常生活の指導」や「遊びの指導」、「生活」、「自立活動」は、教育活動全体の中で指導を行うために特設しない。 ・総合的な学習の時間の名称は「ひのいちタイム」とする。 ・生活単元学習の名称は「さくらタイム」とする。 ・クラブ活動は、学校全体のクラブ活動に参加する(15回)。 ・委員会活動は、学校全体の委員会活動に参加する(11回)。 					

